



設された部署だと説明があり、黄棟俊（ファン・ジョン）課長はまだ新任されて6か月で勉強不足ではあるが、現地にはまず訪問したいと言われ、すべての要求について真摯に受け止めて頂いた。続いて遺族会からは、政府が把握している遺族名簿の提供など要請があり、全面的に協力するという回答も得られた。長年政府との面談すら実現しなかった遺族会にとって、歴史的で感動的な面談となったようだ。

交渉があった14階から課長自らが私たちを玄関までお見送りして下さり、記念撮影まで申し出ていただいて、韓国政府と遺族会、刻む会の三者がお互い協力して行くことを確認しあった。

そして、遺族会と風食をはわらべ

責任ある交渉がすすんで私も遺族会もその成果にすっかり興奮気味で風食をとった。その後尹玉基（ユン・オッキ）さんが「刻む会」に対するお礼の気持ちを表したいと、近くのカフェでおいしいコーヒーを御馳走して下さいました。尹さんはお父さんの顔も知らずに生を受け、ようやく数年前に父親が長生炭鉱で犠牲になったことを知った方だが、日本を恨み日本製のものには絶対に買わないで生きてきたと言います。それが「刻む会」と出会って「恨」が少しずつ溶けてきたと笑顔でおっしゃってくださった。本当に有り難い言葉を頂いて、これからも誠実に応えていかなければと思った。

遺骨問題は1965年の日韓協定時には問題にすらされず、2004年の盧武鉉大統領と小泉首相との間で徴用工の遺骨返還について両国政府の合意がなされてその解決の動きが始まったのであり、日韓協定に絡む外交上の諸問題とは切

り離して進めていくべき課題だ。遺骨奉還すら外交上諸問題を理由に取り組まないのではあれば、加害国としてあまりに傲慢ではないか。

ほったらかしにしていい遺骨などこの世に存在しない。遺骨はこの世に存在した証なのだ。まして恨みの日本の海の底深く捨て置かれて77年の歳月を経た長生炭鉱の犠牲者の無念を思うとき、彼らが望む死に場所に返してあげるのには、私たち日本人の責務であり道理だと思ふ。一通の手紙から大きな繋がりをつかみ、ここを大事にしながら発掘に向けてさらに大きな力を結集していきたいと思う。遙かな課題を実現可能な課題へ。

2019年(令和元年)6月5日(水) 毎日新聞

**「長生炭鉱」の遺骨収集に向け 韓国に協力呼び掛け**

長生炭鉱の遺骨収集に向け、刻む会が韓国政府に協力を呼び掛けた。刻む会代表の尹玉基氏は、刻む会が韓国政府に協力を呼び掛けた。刻む会代表の尹玉基氏は、刻む会が韓国政府に協力を呼び掛けた。刻む会代表の尹玉基氏は、刻む会が韓国政府に協力を呼び掛けた。

**聖火リレー 5月14、15日**

聖火リレーの日程が発表された。刻む会が韓国政府に協力を呼び掛けた。刻む会代表の尹玉基氏は、刻む会が韓国政府に協力を呼び掛けた。

**県内訪問地決まる**

刻む会の県内訪問地が決定した。刻む会代表の尹玉基氏は、刻む会が韓国政府に協力を呼び掛けた。

毎日新聞(下関版)2019年6月5日(水)朝刊

田植えて忙しい時期なので、一緒に訪韓は無理と断っていたが、韓国政府と交渉することとなり、井上さん一人で対応させるのは：と井上さんより少し遅れて韓国へ。今回の交渉に韓国国内より遺族会メンバー10名が集まった。そのうちのお一人、朴正一（パク・ジョンイル）さんは、93年、韓国遺族会結成後初めて来日された一人であり、近年消息が不明だった方であった。それほど今回の韓国政府との交渉は韓国遺族会にとって非常に大きな意味を持っていた。93年に日韓双方に建議書を提出して以来、政府に門前払いされ、あきらめていた政府交渉が実現したのだ。そして、今回の政府担当者はこの時の約束通り、1か月もしないうちに現地を訪問した。この事実が、私たちに以上に韓国・遺族会にとって大きな意味を持っている。

今回の訪韓のきっかけになったのは、遺骨奉還宗教者市民連絡会(通称・遺骨ネット)の追悼ツアーだった。このツアーには結果的に参加することはできなかったが、ホテルが一緒だったので遺骨ネットの方々とは折交する機会もあり、いろいろなアドバイスをいただくことができた。そして、今回の動きを遺骨ネットの事務局長である森俊英さんが『週刊金曜日』に記事を出筆してくださいました。こういう多くの方々からの協力もあり、小さな市民団体の大きな野望は、本当に少しずつではあるが、前へ進んでいる気がする。

(文責) 山内弘恵



『週刊金曜日』  
2019.7.12(1240号)

**韓国政府訪問！歴史的な第一歩に！！**  
**強制動員犠牲者遺骸奉還課 3名が長生炭鉱現地訪問！**



6月3日の韓国政府訪問からわずか1か月もたたない7月1日(月)、黄棟俊(ファンドンジュン)課長を含む3名が来日、長生炭鉱現地を訪問した。追悼ひろばを訪れた課長は、胸に詰まるものがあつたと目に涙を浮かべ、追悼碑に献花をした。

今回の訪問はあくまでも、韓国遺族たちの要請を受け、遺族の気持ちに寄り添うために、机の上でなく実際の現場を見ようというもの。

去る、6月3日、韓国で同機関を訪問し、韓国遺族会と共に「ぜひとも現地を訪問して欲しい」と要請したことに応えたのだった。わずか1か月での実現に、私たち「刻む会」も驚くと共に、非常にありがたく思った。

この日、山口県議会議員4名も現地に駆けつけ、共に対応して下さった。日韓関係は今非常に難しい状況になっているが、遺骨返還という問題は、政治とは切り離して対応しなければならない問題である。

今回の訪問を受け、韓国政府と遺骨収集の実現に向けてお互い協力していくことを改めて確認できたことは非常に大きな意義があつた。



黄棟俊(ファンドンジュン)課長は、ピーヤを見て涙を流した。

←毎日新聞(下関版) 朝刊  
2019年7月2日(月)

**韓国政府が長生炭鉱視察**

遺骨収拾へ「歴史的な第一歩」

戦時中の水没事故で朝鮮半島出身者と日本人の計1833人が犠牲になった海底炭田「長生炭鉱(宇部市)」の遺骨収集に向け、韓国政府担当課の3人が1日、現地を視察した。同日、現地の市民団体は「歴史的な第一歩」と話している。

訪れたのは、韓国行政安全省強制動員犠牲者遺骸奉還課の黄棟俊(ファンドンジュン)課長ら3人。追悼碑前で犠牲者名簿をささげた後、位牌がある近くの西光寺や今も残る坑道の排気・排水口「ピーヤ」を視察。追悼碑前で黄課長が涙する場面もあつた。事故の資料収集や追悼碑建立に努めてきた市民団体「長生炭鉱の会」の井上啓子共同代表は、韓国政府が来たことは歴史的な一歩だと歓迎している。この機会を大切にして、遺骨収集を一つ一つ進めていく。黄課長は「遺族感情を考慮して、両国政府の正式な調査を経て返還することが必要」と話した。

長生炭鉱では、94年に坑口から約1.5kmの地点で浸水。犠牲者のうち1833人が朝鮮半島出身だったとされる。坑道は事故直後に閉じ、遺骨は収集され、日韓両政府の協力によって戻ってきた。(佐藤緑平)

長生炭鉱事故犠牲者の追悼文を読む韓国の黄課長(右)ら



**活動日誌**

(前回たより以降)

※太字：詳細は記事にて紹介

- 3/22(金) 松浦正伸(福山市立大学)さん来訪
- 4/6(土) 4/7(日) 強制動員真相究明ネット ワーク全国研究会(群馬)
- 4/10(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会
- 4/12(金) 第1回運営委員会
- 4/12(金) 韓国遺族及び大韓仏教観音宗との懇談、DNA検体採取(長門)
- 4/13(土) 大韓仏教観音宗慰霊祭
- 4/18(木) 亜太平和交流協会来訪
- 4/27(土) 石純姫さんFW
- 5/8(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会
- 5/9(木) 総会のための発送作業・過去資料整理
- 5/15(水) 裴愛蘭さん(釜山)来訪
- 5/17(金) 第2回運営委員会
- 5/24(金) 韓国慶尚南道昌原「民族はひとつ運動部統一村(略称)」FW
- 5/25(土) 第6回定期総会
- 5/26(日) 無窮花友好親善の会総会(飯塚)
- 5/31(金) 平和フェスタ2019実行委員会
- 6/1(土) 強制動員真相究明ネットワーク事務局会議(神戸)
- 6/3(月) 韓国遺族と共に韓国政府行政安全部遺骸奉還課訪問・交渉(韓国)
- 6/12(水) 愛媛県東音市 人権擁護委員研修会
- 6/12(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会
- 6/14(金) 第3回運営委員会
- 6/19(水) 平和フェスタ2019実行委員会
- 6/25(火) 山口県議会・商工観光委員会にて超異性炭鉱問題を議員が質問(傍聴)
- 7/1(月) 韓国政府行政安全部遺骸奉還課来訪
- 7/10(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会
- 7/15(月) 第4回運営委員会
- 7/17(月) 山口県議会議員及び国際課との懇談会
- 7/18(木) 平和フェスタ2019実行委員会
- 7/18(木) サンキョウクラブ学習会
- 7/19(金) ウリキョレハナ運動本部FW

# 第12回強制動員真相究明 全国研究集会(in 群馬)報告

「刻む会」会員 大野剛義

4月6、7日に群馬県高崎市において当集会とフィールドワークが実施された。群馬や全国の報告の中、「刻む会」から井上洋子共同代表が『「長生炭鉱の遺骨発掘収集」を強制連行・強制労働の象徴的な課題へ』と題し報告した。長生炭鉱は全国的に知られる運動ではあるが、遺族の切実な思いから、現在は遺骨発掘収集に向け全力をあげていると報告した。

フィールドワークでは殉難者の碑など各地にある史跡を巡るとともに「群馬の森」に行った。「群馬の森」には『記憶 反省 そして友好』の追悼碑があるが、県当局が10年更新申請を不当にも許可せず、裁判闘争に発展している。

この「群馬の森」は陸軍火薬製造所の跡地にある。各所に5mを超す土塁が残っていた。この土塁は、もしある建物が爆発しても別の建物の類爆を防ぐことが目的である。同じ跡地に日本原子力研究所があり、これは中曽根康弘の働きかけで誘致された。当時、地元選出議員であった中曽根は「平和利用」を掲げて原子力導入に奔走した。しかし、原子力利用の真の目的がなんであったのかは、これら頑強に連なる土塁群が如実に示している。



「群馬の森」

## 大韓仏教観音宗慰霊

舞踊・カヤグム演奏などもありました



ご遺族10名も参列



井上洋子共同  
代表の挨拶

4月13日(土)午後1時～ 韓国から観音宗の僧侶・信徒の皆様、約60名で追悼集会が開催されました。昨年、一昨年と続き、「刻む会」主催の追悼集会で追悼行事をしてくださった団体です。今年度からは、それぞれの主催での開催となりました。今回も、韓国在住の犠牲者のご遺族10名も一緒に来られ、2月の追悼集会に続いて、追悼の祈りを捧げました。最初に海岸にての祭事後、追悼ひろばでの追悼式が執り行われました。「刻む会」の井上洋子共同代表も参列し、追悼の言葉を述べました。今回初めて、韓国より国会議員も参列し、多数のマスコミも取材をするなど、韓国での関心の高さをうかがわせていました。

事務局報告 (2019年3月21日～2019年7月15日)

事務局長 小畑 太作

運営委員会会議開催

- 2019年度第1回 4/12(金)欠席3名。
- 2019年度第2回 5/17(金)欠席1名。
- 2019年度第3回 6/14(金)欠席3名。
- 2019年度第4回 7/15(月)欠席2名。

定期総会開催

2019年度(第6回) 定期総会開催  
5/25(土)

出席50名(内委任状24名)、傍聴5名。  
規定議案をすべて承認・可決。他 運営委員一名(松元和也)補充を承認。  
第二部:「忘れられた名前」DVD上映会。第三部:懇親会。

会員動静

正会員111名(前年度総会比+11名)  
賛助会員239名(前年度総会比+13名)  
寄付者96名(前年度総会比+7名)

他団体との連携

- ①第9回B-Y-P 韓国富川の青少年とのいきいき交流 来年5/3(金)～6(月)協力検討。
- ②強制動員真相究明ネットワーク全国研究集会 4/6(土)～4/7(日)委員派遣。同上事務局会議 6/1(土)委員派遣。
- ③無窮花友好親善の会総会 5/26(日)委員派遣。
- ④平和フェスタ2019(当会「夏の学習会」を兼ねて)実行委員会 5/31(金)、6/19(水)、7/18(木)委員派遣。
- ⑤亞太平和交流協会国際会議 7/25(木)～7/27(土)委員派遣検討。

追悼ひろば

- ①パンフレット改訂版を検討。
- ②壁面空きスペースへの写真資料展示検討。
- ③ブロック塀の安全確認検討。
- ④名板の日焼け改善検討。

証言・関係資料収集発行

- ①映像と紙資料のデジタル化の作業継続。
- ②韓国出版『角が出た海』の日本語版出版作業継続。
- ③紙芝居「アボジは海の底」のオリジナル映像化作業継続。
- ④『アボジは海の底』第4集を検討。

遺骨等収集

- ①データベース拡充について検討。
- ②DNA検体採取検討と実施(4/12(金)、6/3(月))
- ③坑口調査検討。
- ④韓国政府行政安全全部遺骸奉還課を韓国遺族と共に訪問 6/3(月)。

同課来訪対応 7/1(月)。

ピーヤの保存

- ①説明板についての要望書賛同者への報告検討。
- ②所有権等の権利義務について検討開始。

学習会等

- ①個人取材・FW対応 3/22(金)、4/18(木)、4/27(土)、5/15(水)。
- ②大韓仏教観音宗慰霊祭受入 4/13(土)。
- ③韓国慶尚南道昌原「民族はひとつ」運動部統一村(略称) FW対応 5/24(金)。
- ④愛媛県東音市 人権擁護委員研修会対応 6/12(水)。

- ⑤サンキョウクラブ学習会対応検討 7/18(木)。
- ⑥ウリキョレハナ運動本部FW検討 7/19(金)。
- ⑦立命館大学紀要への寄稿依頼対応。

山口朝鮮初中級学校への助成金停止問題

- ①朝鮮学校を支援する山口県ネットワークの加盟団体として、県知事(原則毎月第2水曜日)と下関市長(原則毎月第4火曜日)への要請行動に参加。
- ②ネットワークのHPと会計を引き続き担当。

その他

- ①ホームページの移設を完了。拡充を検討。
- ②会報誌『刻む会たより』発行と準備。
- ③FWの拡充を検討。
- ④朗読劇再演検討と依頼実施。
- ⑤地元民との交流検討。

総会報告

第6回(2019年度)定期総会が5月25日、宇部緑橋教会にて開催されました。正会員数111名(2019年5月25日現在)のところ、実出席26名、委任状出席24名計出席50名の出席によって、議長・島敏史 書記・山内弘恵の下、活動報告・会計報告、会計監査報告、活動方針・予算案等について審議が行われました。

また、議事録署名人(久保武智 時田洋輔、会計監査委員(木村和彦 真鍋みどり)、追加議案として運営委員 横山潤氏の辞任に伴う後任者として松元一也氏の選任を運営委員より提案され、結果、全ての議案が満場一致で承認されました。

なお、議案書をご覧になりたい方は、事務局までご連絡ください。

【一般会計】

	科目	年度予算	期間実績	実績累計	率	備考
歳入						
1	会費	520,000	6,000	431,000	82.9%	
2	寄付金	1,000,000	19,900	936,720	93.7%	※
3	物販	40,000	700	26,900	67.3%	
	証言・資料集	30,000	700	20,900	69.7%	
	その他	10,000	0	6,000	60.0%	
4	雑収入	5,000	0	3,740	74.8%	
5	前期繰越金	0	0	0		
6	特別会計より繰入	0	0	0		
	合計	1,565,000	26,600	1,398,360	89.4%	

歳出						
1	事務費	60,000	2,320	61,176	102.0%	
2	広報費	220,000	83,905	238,227	108.3%	たより印刷送料他
3	会議費	30,000	30,000	30,000	100.0%	
4	追悼碑管理費	10,000	391	5,376	53.8%	電気代
5	活動費	980,000	674,483	1,001,359	102.2%	
	学習会等	180,000	2,100	93,106	51.7%	切手まつり他
	追悼集会	600,000	669,383	669,383	111.6%	
	その他活動	200,000	3,000	238,870	119.4%	諸派遣費他
6	他団体会費等	45,000	10,000	23,000	51.1%	
7	雑支出	35,000	11,250	27,916	79.8%	
	手数料	25,000	716	17,382	69.5%	
	その他	10,000	10,534	10,534	105.3%	世界遺産ガイドブック
8	予備費	50,000				
9	特別会計へ繰出	135,000	0	0	0.0%	
	小計	1,430,000	812,349	1,387,054	97.0%	
10	繰越金	0	-785,749	11,306		
	合計	1,565,000	26,600	1,398,360	89.4%	

※ 寄付者 (敬称略)

栗原 健 福田富美子 松浦 正伸 韓国曹溪宗 (その他匿名 12 件)

【追悼碑特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,605,224				
繰入金	0		繰越金	1,605,224	
合計	1,605,224		合計	1,605,224	

【遺骨収集等特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,898,945		DNA 鑑定	29,160	2 名分
繰入金	0		繰越金	1,869,785	
合計	1,898,945		合計	1,898,945	

以上感謝をもってご報告いたします。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

会計報告 (2019/04/01～2019/06/30)

【一般会計】

(円)

	科目	年度予算	期間実績	実績累計	率	備考
歳入						
1	会費	500,000	309,000	309,000	61.8%	
2	寄付金	1,000,000	267,129	267,129	26.7%	※
3	物販	33,000	13,300	13,300	40.3%	
	証言・資料集	25,000	9,300	9,300	37.2%	
	その他	8,000	4,000	4,000	50.0%	
4	雑収入	4,000	0	0	0.0%	
5	前期繰越金	11,306	11,306	11,306		
6	特別会計より繰入	0	0	0		
	合計	1,548,306	600,735	600,735	38.8%	

	科目	年度予算	期間実績	実績累計	率	備考
歳出						
1	事務費	65,000	10,237	10,237	15.7%	
2	広報費	240,000	34,994	34,994	14.6%	たより印刷送料他
3	会議費	30,000	0	0	0.0%	
4	追悼碑管理費	10,000	1,152	1,152	11.5%	電気代
5	活動費	1,040,000	55,407	55,407	5.3%	
	学習会等	90,000	2,236	2,236	2.5%	韓国政府対応
	追悼集会	650,000	0	0	0.0%	
	その他活動	300,000	53,171	53,171	17.7%	諸派遣費他
6	他団体会費等	30,000	10,000	10,000	33.3%	無窮花友好親善
7	雑支出	40,000	17,278	17,278	43.2%	
	手数料	30,000	17,278	17,278	57.6%	
	その他	10,000	0	0	0.0%	
8	予備費	50,000				
9	特別会計へ繰出	43,306	0	0	0.0%	
	小計	1,505,000	129,068	129,068	8.6%	
10	繰越金	0	471,667	471,667		
	合計	1,548,306	600,735	600,735	38.8%	

※ 寄付者 (敬称略)

麻野 他郎	浅野 直人	池内 友子	大隅 督子	小畑 太作	杵渕 智子	木原 千成
金 春 江	国村 勝	熊野 讓	小暮 房子	坂 貞子	島村眞知子	高橋 信
崔 正 剛	都 相太	利元 克巳	長澤連三郎	長澤 孝幸	永富 彌古	西崎 雅夫
萩 ルイ子	文 夏子	斐 東 録	斐 愛 蘭	松岡 節子	松富 昭子	三宅 冬樹
本吉 真希	森田 彰人	森次美代子	山内 弘恵	依田 康子	湧川 静子	
在日本朝鮮山口県商工会		在日本大韓国民団 山口県地方本部		日本基督教団隠岐教会		

(その他匿名 13件)

【追悼碑特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,605,224				
繰入金	0		繰越金	1,605,224	
合計	1,605,224		合計	1,605,224	

【遺骨収集等特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,869,785		訪韓補助	63,957	3名
繰入金	0		DNA鑑定	14,580	1名分
			繰越金	1,791,248	
合計	1,869,785		合計	1,869,785	

以上感謝をもってご報告いたします。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

書籍のご案内

真相究明ネットワーク発刊  
「明治日本の産業革命遺産」  
と強制労働  
500円



事務局で取り扱っている書籍のご案内です。ご希望の方は、事務局までご連絡ください！



証言資料集 全3冊  
絶賛！好評発売中！  
頒布価格 1冊 300円  
2冊セットで 500円  
3冊セットで 700円



韓国・真相糾明委員会発刊書籍

←『日本の長生炭鉱水没事故に関する報告書』  
ご希望の方はカンパ 1000円でお送りします。

『委員会活動結果報告書』（日本語版）→  
ご希望の方は、カンパ 300円（送料込）でお送り  
します。



今後の行事のご案内

「刻む会」は現在会員 500 名を目指しています！  
知人・友人にぜひ一声お願いします！

2019年8月2日(金)～4日(日) 場所：宇部市立図書館  
平和フェスタ 2019 ※詳細は同封チラシにて  
1F 展示室にて展示を行います。

夏の学習会

2019年8月3日(土) 場所：宇部市立図書館 2F 講座室  
11時～12時 DVD「アボジは海の底」上映&トーク  
※平和フェスタの中で開催します。  
(同封チラシ参照)

たより同封物

- ・振替用紙
- ・夏の学習会  
チラシ
- ・平和フェスタ  
2019 チラシ

ついにピーヤの説明板設置！



ピーヤの説明板について、宇部市と長年交渉を続けてきましたが、私たちが主張してきた最後の3行を削除する形で、双方合意し、ついにこの3月末にピーヤに一番近い海岸入り口に設置されました。

署名など、多くの方々のご協力があった結果です。本当にありがとうございました。  
現地を訪問される際はぜひご覧ください。

